

平成 30 年 3 月 29 日

北海道教育委員会教育長 様

北海道美瑛高等学校長
横 山 昌 明

次のとおり平成 29 年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 学習意欲を養い、基礎基本的な内容の確実な定着を図る。	(学習指導)
(2) 基本的生活習慣の確立と思いやりの心を養う。	(生徒指導)
(3) 自己の進路を考え、実現していくための能力を養う。	(進路指導)
(4) 健康な心身と生命尊重の態度を育てる。	(健康安全指導)

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・公開研究授業等を実施し、教員同士で意見交流し授業改善に努めた。 ・基礎基本を定着させる「わかる授業」構築に向けた授業改善を教科ごとに行い「授業のユニバーサルデザイン化」に取り組んだ。	①改善の方策は抽象的な表現よりも具体的なものが理解しやすい。 ②生徒や保護者の評価も今年度はとても高く、学習指導に関して工夫が見られ、成果も上がってきている。
改善方策	・授業改善については、学習指導要領の改訂に向け、アクティブラーニングなど生徒が主体的に学ぶ授業の充実に努める必要があり、さらなる研修が必要である。 ・評価方法やシラバスの点検見直しを行う。	
生活指導	・生徒理解のための声かけ・傾聴・観察などをおし生徒と積極的にかかわりを持つ取組を行うことができた。このため、指導件数も昨年より大幅に減った。 ・ボランティア活動や地域行事への積極的な参加があり、地域との繋がりを深めることができた。	①生徒指導に関しては、今年度は生徒事故も少なく、指導が行き届いたのではないかな。 ②登下校の際に町民に挨拶をもっとすることができるようになって欲しい。 ③校則などの遵守がある程度まできたので、ワンランク上の指導を期待したい。
改善方策	・生徒指導に関しては面談週間の実施など、さらに生徒理解に向けた対策を講じる必要がある。いじめ防止に向けては生徒が自主的に活動していく環境作りが必要である。 ・ボランティア活動については、美瑛町との連携により新規事業にも取り組む。	
進路指導	・進路講習、模擬試験等を充実させることで、国公立大学への合格者を 2 年続けて出すことができた。 ・1 年生全員に対して、インターンシップを実施した。職業観だけではなく学校生活に対する意識も高まった。 ・学校設定教科「キャリア探求を」導入し、キャリア教育を教育課程に位置づけた。	①1 年生の早い段階からキャリア教育に取り組んでいるので、生徒一人ひとりの学校生活への動機付けとなっており、今後も継続して取り組んで欲しい。 ②達成状況の評価が B となっているが、A でよいのではないかな。 ③個々に対応した進路指導をしており、進路実績にも現れている。
改善方策	・3 年間で育てたい生徒像を共有し、分掌・学年が意思統一した指導体制を行う。 ・個別指導によって多種多様な進路の実現が可能になるような指導体制（授業や個別指導など）を構築する。	
公表方法	・ホームページに掲載。	

3 添付資料

- | | |
|---------------|--------------|
| (1) 学校評価書 | ・・・・・・・・ 1 葉 |
| (2) 学校評価自己評価書 | ・・・・・・・・ 1 葉 |
| (3) アンケート集計結果 | ・・・・・・・・ 1 部 |